

大阪・関西万博に向けた関西観光アクションプラン【概要】

- これまでの関西においては、観光（特にインバウンドによる旅行消費）が地域経済を牽引してきたが、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う旅行需要の大幅減により、観光・交通事業者への影響は甚大であった
- 関西の観光・交通の回復に向けて、「大阪・関西万博」を最大の好機と捉え、国が支援・実施する取組の方向性と重点的に取り組む事業等について、近畿地方整備局・近畿運輸局・関西観光本部の3者で「大阪・関西万博に向けた関西観光アクションプラン」をとりまとめた

Withコロナでの新しい旅のニーズに対応した取組

- (1) 旅行需要の変化を踏まえた新たな観光コンテンツ創出（魅力向上）
- (2) 持続可能な観光地域づくり（地域の取組）
- (3) 観光業の体質強化（DXの導入等）

地域住民の「当たり前の日常」と旅行者の「非日常」を両立させる好循環を実現

「住んでよし、訪れてよし」の観光地域づくりを目指す

3つの視点で地域を「つなげる」

1. テーマとストーリーで地域を「つなげる」

サステナブル、ガストロノミー、アドベンチャー、歴史土木建築・インフラ観光、産業観光、海事観光、地域交通との連携等

2. 人材で地域を「つなげる」

観光地域づくりに携わるステークホルダーの人材ネットワーク構築やSDGsを踏まえたDMO人材の育成等

3. 情報で地域を「つなげる」

新たな移動価値を提供する「関西MaaS」の促進やデジタル技術等による観光DXの推進、ICTやメタバースの活用等

～3者が手を携え、取組効果を最大限に発揮～

近畿地方整備局

社会資本整備の実施

近畿運輸局

観光・交通政策の実施

関西観光本部

広域連携DMOとして
取組を実施

大阪・関西万博に向けて関西全体をパビリオン化

- 万博開催に向けて、**関西全体をパビリオン化**することで万博来場者の関西周遊を促進
- 万博来訪の前後期間を利用した誘客を行うため、各地域では、それぞれの地域性を活かしたコンテンツ造成や観光の高付加価値化等の取組を推進
- **関西MaaSと連携し、地域間のシームレスな移動による関西全体の広域観光を促進**

【取組例】

- ◆ 万博のコンセプトである「未来社会の実験場」やSDGsを意識した特別イベント等の実施
- ◆ 地域間の移動に「関西MaaSアプリ」を活用することで交通機関の利用を促進

【特別イベント等の取組例】



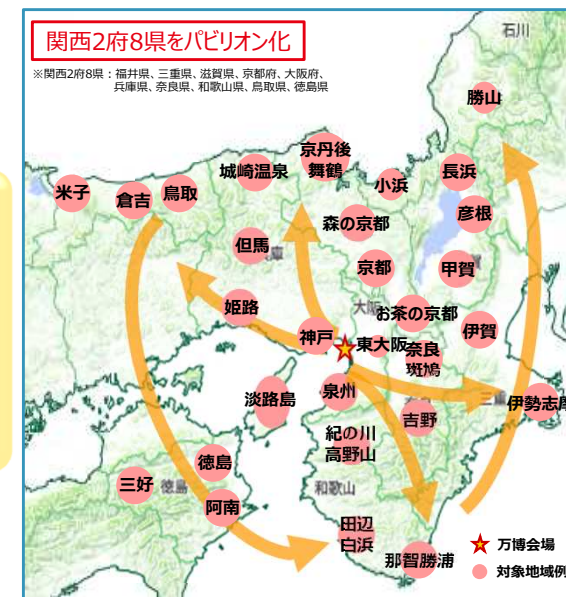
弘法大師座像公開



姫路城天守等公開



関西MaaSアプリ



※地図：国土地理院地図を加工して近畿運輸局が作成

万博の賑わいを、大阪の賑わい、関西の賑わいにつなげ、さらに全国へと広げることで、関西から観光立国の復活！